

## 1. はじめに

高知工科大学の井上による研究\*<sup>1</sup>によると、近年、全国的に核家族化が進んでおり、高齢者と若者のコミュニケーション不足が問題視されている。また、高齢者が主に新聞・テレビから情報を得ているのに対し、若者はインターネットからの情報取得が主である。この2点により、「祖父母と孫の会話が噛み合わない」などといった事態が引き起こされている。この問題を解決するために本システム「ShinBunet」を開発した。

## 2. 本システムについて

### 2.1 コンセプトと対象

本システムでは、誰でも行える様な簡単操作で、新聞記事とインターネット上の情報を結びつけることができるようにすることで、高齢者と若者の話題差・情報格差を解消することを目指した。

システムの対象として、日常的に新聞を読んでいる高齢者を主としている。ただし、高齢者に限らず誰でも簡単に使用できる仕組みとすることで、「新聞とインターネットを結びつけて、より多くの情報を得たい」と考えている全ての方が満足するようなシステムを目指す。

### 2.2 システム概要

新聞を読みながら、「この記事について、ネット上で発信されている情報を得たい」と思ったとき「記事上で手をかざす」という動作を行うと、ShinBunet が自動的にネット上から情報を収集し、取捨選択を行った上で見やすいレイアウトに整形をして情報を提供する。

高齢者にも簡単な動作によってインタラクティブに新聞記事とネットの情報を結びつける点が特徴である。

### 2.3 システムの構成に関して

本システムは主に3つの機能から成る。

#### 2.3.1 新聞記事情報検出機能

ユーザの新聞記事指定を検知し、記事中のキーワードを検出する機能である。まず一定時間以上肌色認識

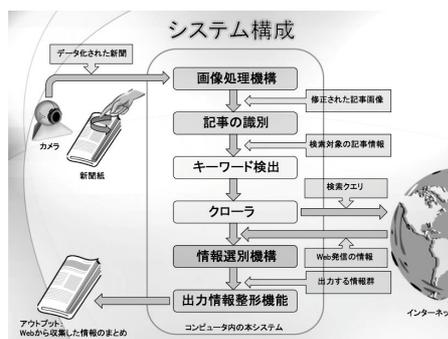
が行われた箇所を「選択された新聞記事」と判定する。記事範囲抽出後、画像処理を行い該当記事のキーワード(タイトルや本文)を抜き出す。キーワードに関してはEvernote や Google のサービス、API を活用して文字認識(OCR)を行う。

#### 2.3.2 情報収集機能

選択された新聞記事に関連する情報を収集する機能である。Google や twitter の SearchAPI などを活用しHTML データを集めたあと、新聞記事とのキーワードマッチングによって関連性の高い部分のみをスクレイピングする。このとき、更新日時を参考に新鮮度が高い情報を、SNS 等での言及数を参考に信憑性・話題性の高い情報を選別し、最終的に出力する情報の数を絞っていく。

#### 2.3.3 整形・出力機能

文字列の長さや画像のサイズによって配置を決め、新聞記事の様なレイアウトで出力を行うことで、高齢者でも閲覧しやすいようにする。



## 3 まとめ

本システムは、高齢者と若者の情報格差を、簡単な操作で新聞記事とネット上の情報を結びつけることにより解決するものである。高齢者と若者のコミュニケーションを支援し、世代間のギャップを埋めるために本システム「SinBunet」を提案する。

\*<sup>1</sup> 少子高齢化社会における世代間交流制作に関する研究 -